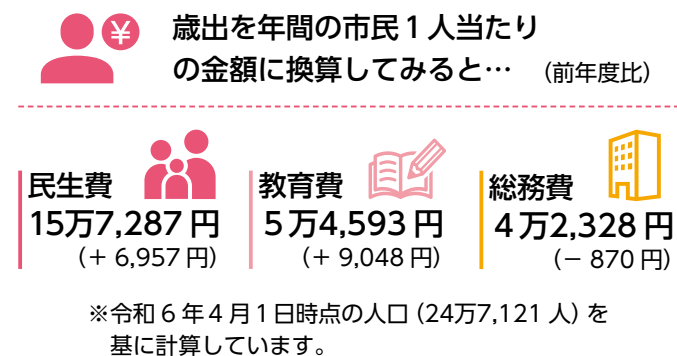
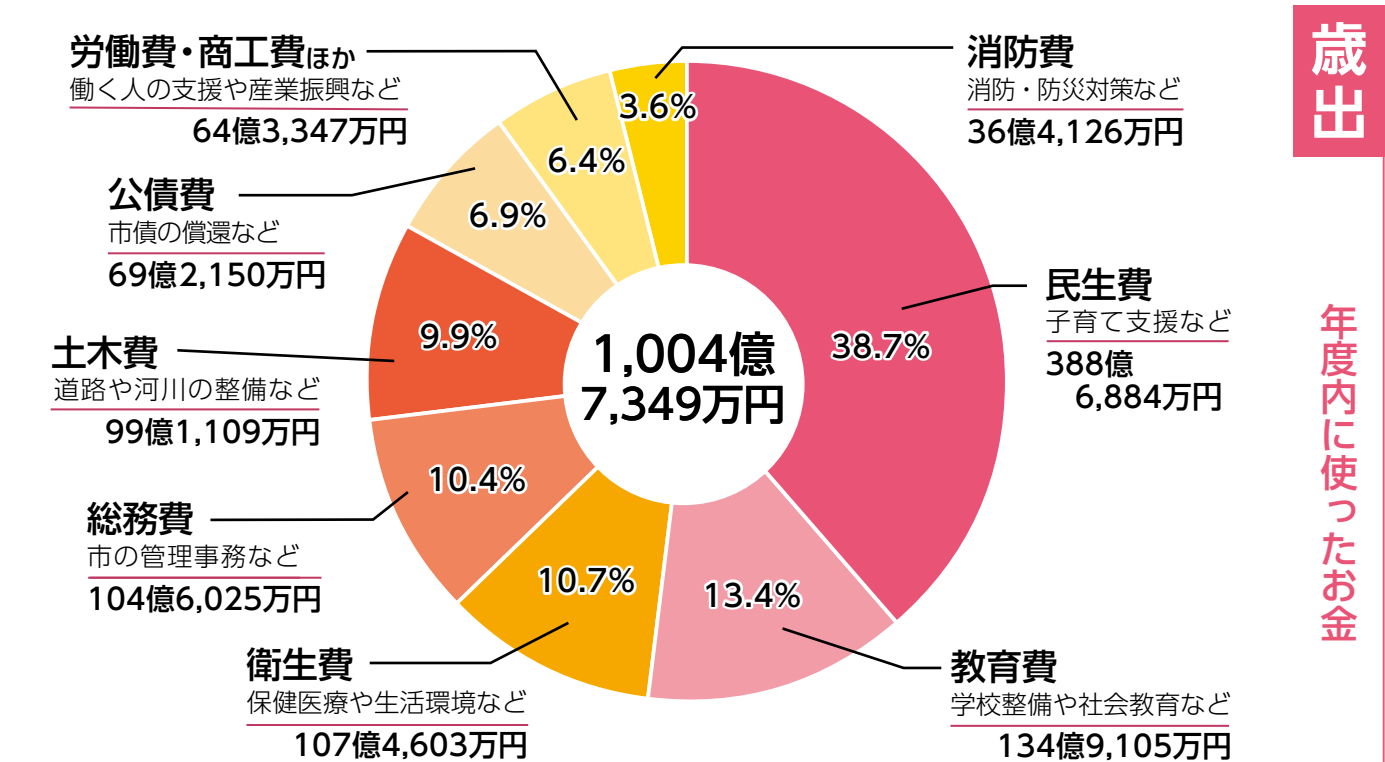




歳出は民生費が最多

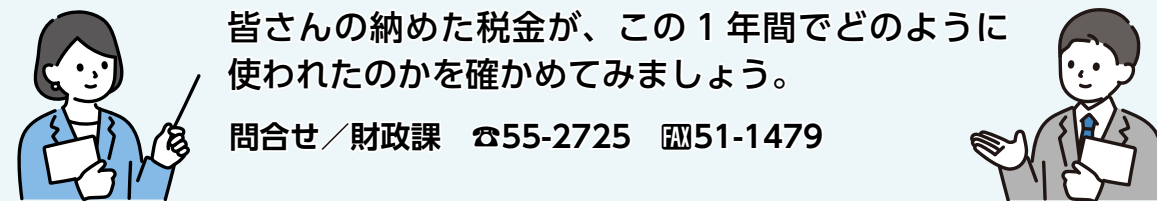
歳出は、目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が約40パーセントを占め、最も多くなっています。
これは、国からの補助を受け、物価高騰対策として住民税非課税世帯等へ給付金の給付を行ったことなどによります。
次いで、教育費が13.4パーセントとなっていて、総合体育館の建設や学校給食の公会計化等を実施しました。

企業会計決算

企業会計とは
法令に基づき、独立採算を原則に企業の経営で運営される会計です。

病院事業	公共下水道事業	水道事業
事業収益合計 157億9,173万円 事業費用合計 157億9,487万円 純損失 314万円	事業収益合計 61億2,523万円 事業費用合計 50億1,313万円 純利益 11億1,210万円	事業収益合計 40億9,310万円 事業費用合計 33億7,913万円 純利益 7億1,397万円

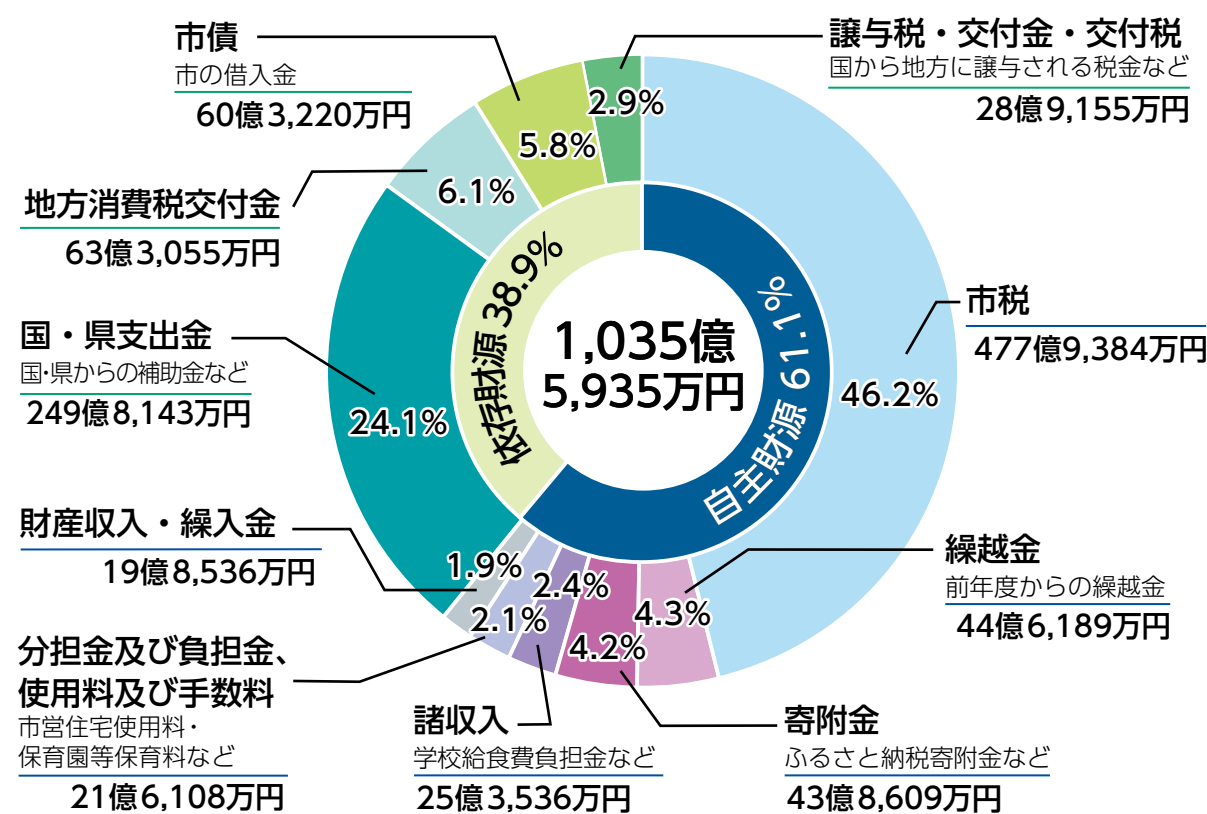
令和5年度 決算報告



皆さんの納めた税金が、この1年間でどのように使われたのかを確かめてみましょう。

問合せ／財政課 ☎55-2725 📠51-1479

▲決算報告の資料は、市ウェブサイトに掲載しています。詳しくはこちら



市税の内訳

区 分	決算額
市 税	477 億 9,384 万円
個人市民税	153 億 9,827 万円
法人市民税	23 億 826 万円
固定資産税	234 億 3,798 万円
軽自動車税	8 億 7,563 万円
市たばこ税	20 億 1,491 万円
都市計画税	37 億 5,879 万円

歳入の約5割は市税

歳入の約50パーセントは、市民・企業の皆さんに納めていただいた市税です。令和5年度の市税の決算額は約478億円で、前年度と比較して約6800万円の増収となりました。
これは、経済社会活動の正常化による、景気回復に伴う個人市民税の増や、家屋の新増築、設備投資による固定資産税の増が主な要因として挙げられます。

歳入	535 億 1,447 万円	歳出	530 億 9,367 万円
特別会計区分	歳 入	歳 出	
国民健康保険事業	238 億 2,714 万円	237 億 7,656 万円	
後期高齢者医療事業	59 億 894 万円	58 億 8,364 万円	
介護保険事業	214 億 537 万円	212 億 2,726 万円	
新富士駅南地区土地区画整理事業	9 億 265 万円	8 億 7,825 万円	
第二東名 IC 周辺地区土地区画整理事業	5 億 6,005 万円	4 億 6,205 万円	
富士山フロント工業団地第2期整備事業	7 億 2,890 万円	7 億 2,890 万円	

富士市には13の特別会計(令和5年度)がありますが、表中では駐車場事業特別会計、森林財産特別会計、財産区特別会計(5会計)を省略しています。

特別会計決算

特別会計とは
特定の事業を行うため、一般会計と区分けして設けた会計です。事業収益や一般会計からの繰入金などが主な財源で、行政と一体となり、経営・運営を行っています。